



～水土里ネット中勢・水土里ネット雲出井と参画～ 「つ・環境フェア」開催



クイズラリーにチャレンジする参加者

去る1月16日(日)に津競艇場で「つ・環境フェア」が開催され、水土里ネット中勢・水土里ネット雲出井・水土里ネットみえが参画した。

この「つ・環境フェア」は、市民、事業者及び行政の参画、協働のもと、環境と共生した社会の実現を目指し、市民の環境に対する意識の高揚をはじめ、ごみの減量化、リサイクル資源化や環境保全活動など環境に対する市民の自主的、主体的取り組みがさらに広がることを趣旨として開催された。

会場内に設営された水土里ネットのブースでは、雲出川に設置されている雲出井頭首工及び付帯する施設を管理している水土里ネット雲出井が雲出井頭首工の概要と雲出井用水の開祖「西島八兵衛」をわかりやすく紹介したパネルを、安濃川の4カ所に設置されている頭首工(河川から田んぼへ水を引く施設)及び付帯する施設を管理している水土里ネット中勢が地区内を鳥瞰図でわかりやすく紹介し



スタッフの説明を受ける参加者

たパネルを展示した。

そして、展示されたパネルの理解を深めてもらおうとクイズラリーを実施し、525人がチャレンジした。参加意欲をかきたてるために正解者には景品として、中勢用水の受益地内で収穫された「餅米」、雲出川流域で収穫された餅米で作られた「切り餅」、津市須ヶ瀬地区の肥沃な農地で収穫された「里芋」、「大根」、「人参」、「白菜」などが用意された。正解者は抽選器を回し、出てくる玉を見ては歓声を上げ、事務局より渡される景品にそれぞれ満足顔であった。

クイズラリーと併せ、環境に対するアンケートを実施した。

その結果、参加者241人(46%)が住んでいる近くの川が汚れていると回答し、また環境に対する作業活動があれば466人(89%)が参加するとの回答があり、環境に対する認識が高かった。

また、小学生以下の子どもたちを対象にした体験コーナーでは台所から出るわずかな汚水でも河川が汚れることを認識してもらうため、簡易的な検査方法で知られているCODパケットテスト(化学的酸素要求量)に11組45人の親子連れらがチャレンジした。

子どもたちは、試薬入りのチューブに水道水・水道水に僅かな果汁の入った水・同じく醤油の入った水の三種類をそれぞれ注入し、水の色を見比べ、その変化に驚き、その後担当者から説明を聞き、環境に対する認識を深めた。

水土里ネットの存在、役割や環境保全の大切さを理解してもらえ、地域住民との交流が図られ、有意義な1日であった。



パケットテストにチャレンジする親子連れ



パケットテストにチャレンジする子どもたち